

# IEC(国際電気標準会議)からDC充電規格発行

## CHAdeMOに関連する国際標準規格

- IEC61851-23 EV用DC充電 電気安全, システム : IS発行
- IEC61851-24 EV用DC充電 デジタル通信 : IS発行
- IEC62196-3 充電コネクタ : FDIS投票中

## 規格化された各国の提案システム

|                  | 充電システムA   | 充電システムB   | 充電システムC   |   |
|------------------|---|---|---|---|
| 提案国              | 日本  | 中国  | アメリカ  | ドイツ   |
| 充電方式             | DC専用  |   | DC/AC複合   |   |
| 通信方式             | CAN   | CAN   | PLC   |   |
| 車両コネクタ<br>(充電器側) |   |   |   |   |
| 車両インレット<br>(車両側) |  |  |  |  |

# CHAdEMOver.1.0 検定の状況

- 2014年2月26日1.0ガイドライン発行
  - 会員ページ > 技術部会 > CHAdEMO検定関連文書
  - 外部検定機関を登録
    - IDIADA (スペイン)
    - ULジャパン (日本)
    - テュフ ラインランド ジャパン (日本)
    - インターテック ジャパン (日本)
    - TERTEC (台湾)
  
- 3月3日から欧州初の検定試験をIDIADA社で実施



# CHAdEMO 2014年度総会のお知らせ

- 2014年5月20日（火）
- 東京ビッグサイト
- レセプション会場での製品展示，ポスターセッションを募集します。



# 供給・充電装置の接地抵抗について

## 1. 状況

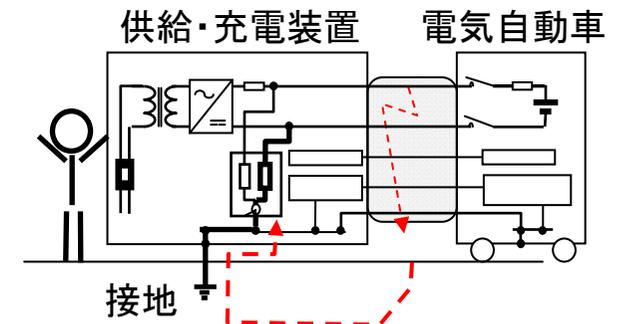
電気設備の技術基準の解釈(以下、電技解釈) 第199条その2 において、電気自動車等から供給装置を介して一般用電気工作物に接続する場合、また充電装置を介して電気自動車等に充電する場合の施設方法が明記されている。

この供給および充電装置は、金属筐体であるため、電技解釈第29条により接地工事を施すことが必要となるが、具体的な接地抵抗値は明確ではなかった。

そこで、電技解釈に関し審議される技術基準適業評価委員会に、安全性を踏まえた接地抵抗値について提案することとした。

## 2. 安全性

- ・直流検出装置による地絡検出で基本的に安全は確保されている。
- ・右図のような地絡における接触電圧も、数V程度(接地抵抗値 $500\Omega$ )であり、安全が確保できる。



## 3. 提案

電気自動車等の供給・充電装置の金属製外箱の**接地工事は、交流側の使用電圧に準じ、選定する。**

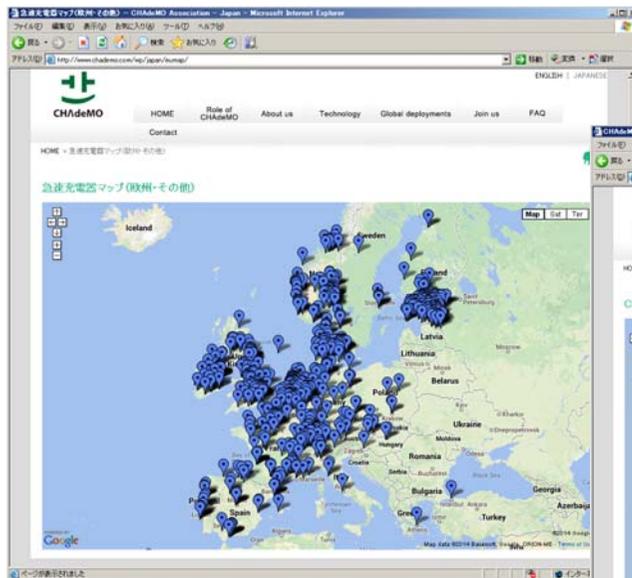
期待される効果: 急速充電器や今後のV2H機器の普及促進

# ホームページでの充電スタンド情報

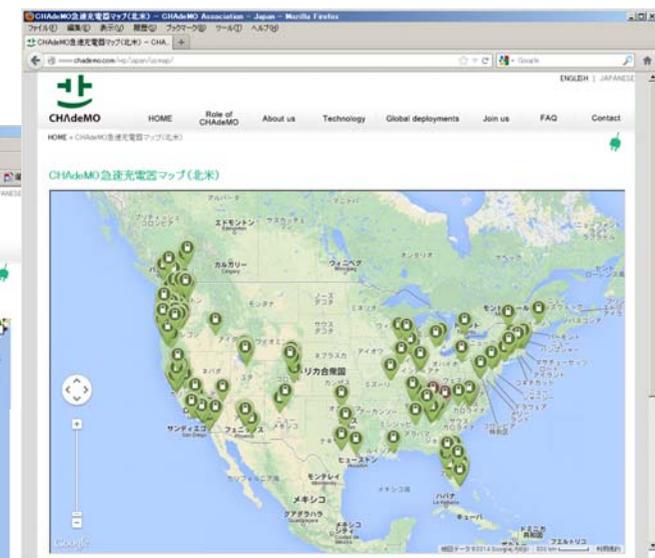
これまで国内、欧州にくらべて情報収集のしくみが弱かった北米については、Plugshareサイトを運営するRecargo社と協力関係を結び、2014年2月から同社の地図情報をCHAdEMOサイトから再配信ができるようになりました。

現在、欧州・北米・日本の3つの地図で情報提供を行なっています。

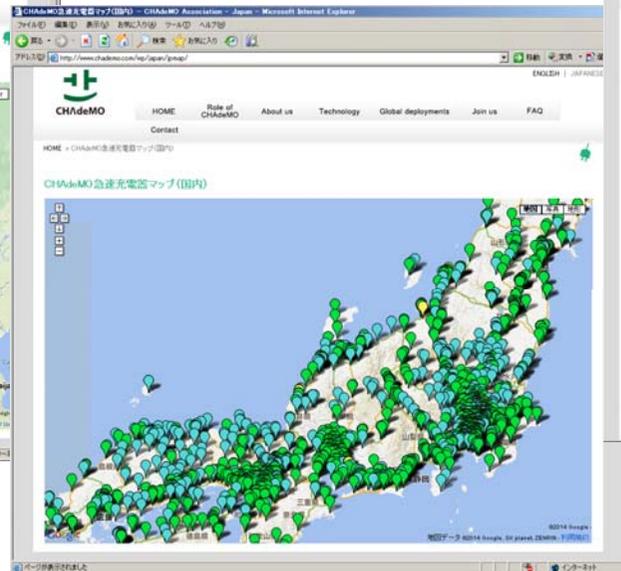
欧州



北米

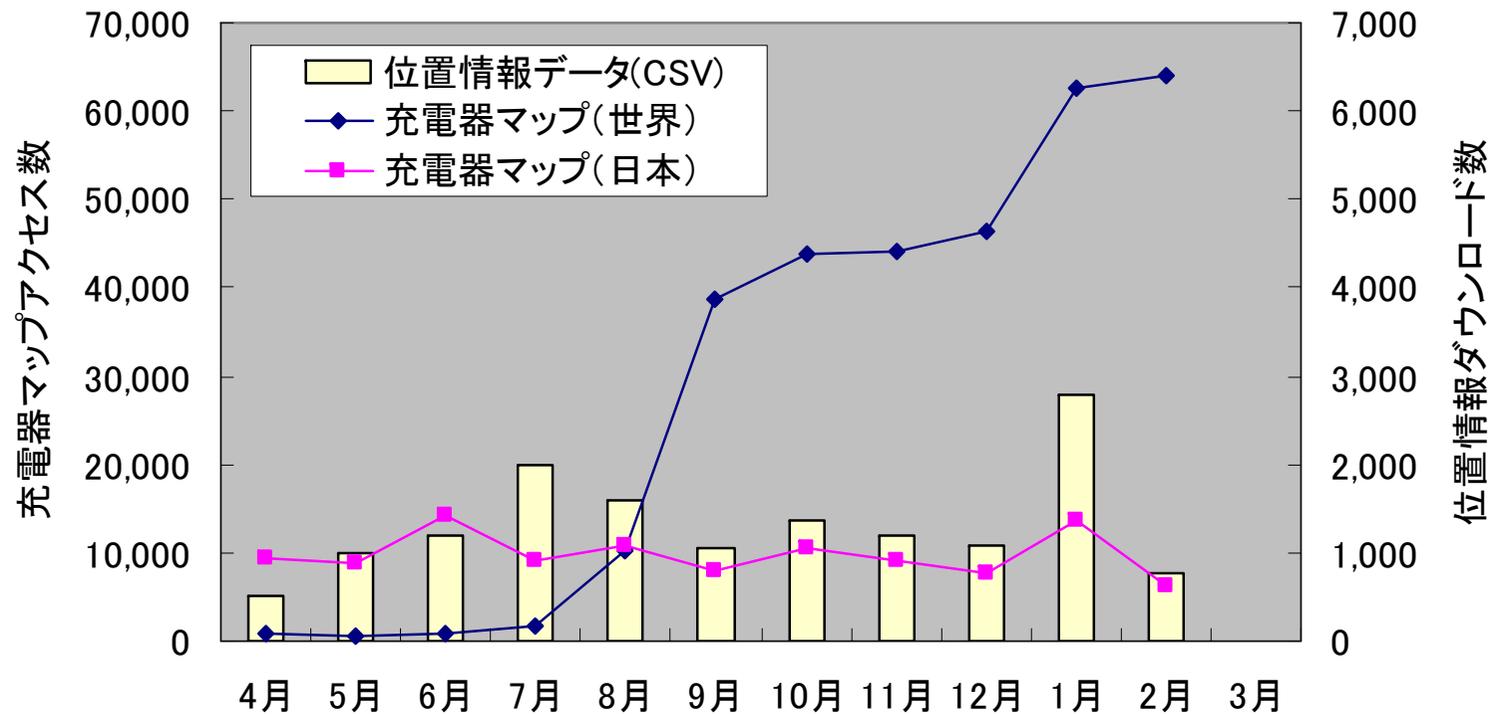


日本



## ホームページでの充電スタンド情報(2)

- 今年から情報提供を開始した国内の充電器位置情報データは、3ヶ月ごとに更新をしてきており、利用が定着しつつあります。
- 海外では年度の後半からアクセス数が急上昇しています。



# CHAdEMO日比谷事務所 移転について



2013年12月8日より

住所 港区新橋1丁目18番2号

明宏ビル別館5階

電話 03-6205-4577

交通 JR新橋駅徒歩6分

## 2014年度に向けたアクションプラン

- 法人化を見ずえた組織体制構築
- 関係諸団体との協力関係推進